

令和7年度 第1学年 授業改善推進プラン

	伸ばしたい力(児童の実態、学習状況、指導の実態より)	改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て)
国語	・ひらがなやカタカナの確実な定着。 ・拗音、促音、格助詞の確実な定着。 ・文章を正しく読み取る。 ・文章読解力。 ・語のまとまりで音読する。	・読み書きの基本となる文字を正しく覚え、しっかりと定着するように、授業や家庭学習で繰り返し練習する。 ・日頃の授業で文章を書く経験をさせ、正しい使い方を意識させる。プリントを用意し<u>拗音、促音の読みの練習を繰り返し行う。</u> ・説明文の読解では、問いの文を<u>全体で確認してから問題に取り組む</u>ようにする。 ・図書の時間の確保や読み聞かせなどの活動を通して、<u>本に触れあう機会を増やす</u>ようにする。 ・授業、家庭学習で<u>音読の練習を行う</u>。音読発表会で評価や個別指導を行い、語のまとまりですらすら読めるように指導する。
算数	・数の構成の理解。 ・たし算とひき算の意味理解。 ・正しく計算をする。 ・文章問題を自力で読み、解決する。	・加法・減法の計算が確実にできるよう、プリントや家庭学習で<u>繰り返し計算練習に取り組ませる</u>。 ・デジタル教科書で場面をイメージして問題に答えられるようにする。 ・個別に<u>具体物を使って考えさせたり、見直しをさせたりして、繰り返し指導をする</u>。 ・教科書付属のデジタルコンテンツや習熟プリントを活用し、<u>繰り返し取り組む</u>ことで確実に理解できるようにする。
生活	・活動を通して気付いたことを、わかりやすく文にしたり絵に描いたりして伝える。 ・自ら深く探求しようしたり、工夫したりする。	・気付いたことを共有できるように教師側から提示する。 ・<u>活動を繰り返し行う</u>中で、よい工夫をしている場面を紹介し、価値づける。 ・<u>予想や気付きを発表し合ったり、観察カードに書いたりして考えを共有し深められるようにする</u>。
音楽	・楽しくリズム遊びをすることができる。 ・身体を使ってリズムを表現する。 ・リズムを正しくとる。 ・鍵盤ハーモニカの指遣いの習得。 ・タンブリンや鈴などの楽器の使い方の習得。	・<u>リズム打ちや、身体表現</u>を通してリズム感を十分身に付ける。 ・様々な音楽教材に触れ、<u>耳や目を通して音楽に親しむ</u>場面を増やし、身体表現を通して音楽で表現する楽しさを味わったりする。 ・新しく学習する楽曲については、毎回音と鍵盤の場所と指とを対応させながら曲を演奏できるように黒板に示す。また、検定などを取り入れて評価や<u>個別指導を行い、習得を目指す</u>。 ・<u>楽器に触れる機会を増やし、楽器に慣れていくようにする</u>。
図工	・自分の見方や感じ方を広げる。 ・自分なりに工夫して表現する。 ・道具の安全で正しい使い方を理解する。	・児童の作品を鑑賞し合う時間を設定し、<u>良いところを見つけ合う活動</u>を取り入れる。 ・工夫を加えて取り組んでいる児童を紹介し、より良い作品にしようとするための視点を与えていく。 ・<u>全体で必ず道具の使い方を確認する</u>。
体育	・集合や整列など、集団行動の基本を身に付ける。 ・体力の向上。 ・指示を理解し、身体を使って表現する力。	・<u>授業の最初と最後に整列し、素早い行動を身に付ける</u>。 ・日常の遊びを充実させ、体力づくりをする。 ・<u>活動の時間を多く取り入れ、体力アップにつながるようにする</u>。 ・休み時間に外に出るように声をかけ、体力向上を図る。
道徳	・授業の内容を自分事として捉える。	・身近な場面で学習したテーマを結び付けて、考えやすい場面を増やす。 ・授業の中で<u>自分の意見をワークシートに書いたり、意見を共有したりする時間を設定する</u>。 ・挿絵など用いて場面を想像しやすくする。